



# 会報

会報 第12号

令和2年4月発行

## 手漉き和紙制作 全行程ワークショップを開催

昨年の八月四日〜十四日の十日間、延べ十六名の方が参加された手漉き和紙制作の全行程ワークショップが開催されました。そこで、今回参加された平澤様に体験談を書いて頂きました。

八月四日、八時五〇分。内藤恒雄手すき和紙記念館の前には、すでに内藤先生と、参加者の小淵さんと佐野さんが談笑していた。

今回は、和紙の材料(国産三極)を煮て、繊維をバラバラにし、紙料を作り、それを漉いて、板に貼るまでの全行程を、贅沢にも十日間にわたり体験できる貴重な実技研修会である。

早々に挨拶を済ませ、全員で工房内に入ると、三尺もある大きな羽釜から、独特な植物の甘い香りが漂っていた。私たちが来る前に、先生はすでに、【湯あげ】という作業を行っていた。【湯あげ】とは、煮熟する前の三極をお湯に浸けることで繊維を広げ、灰汁を浸

透しやすくするための作業だ。なるほど！。この【湯あげ】は、ただ水に浸けて置くより、材料の浸透率を高めることで、煮熟の時間を減らし、

繊維も傷つけない最良な方法だ！。その後、先生は三極を枝元の部分と先の部分に分け、太さを揃えてから、時間差をつけて煮てゆく。どれもこれも理にかなっている作業だ。「全ての作業には意味がある。昔の人がやってきた作業を、意味も分からずにやるのは馬鹿げている。意味がないと思ったらやらない。」と先生。

ショック、衝撃、感動。

頭でっかちの私は、伝統、昔から行われている作業や先人の教えには、意味があるものと、検証もせずに従っ



ていた。が、そうではない。実践し、考えて、必要なことを選ぶ。私は、教えてもらう事ばかりを考えていたが、和紙を造るとは

自分の和紙を探し出すということに気がついた。その後の十日間は目から鱗の連続でした。私の常識外れの質問攻めに、先生はあきれながらも、丁寧に答えてくださり、充実した実技研修会となった。先生、本当にありがとうございました。手漉き和紙は、面白くて面白くてたまりません。

平澤美幸 (文・写真)



## 狩宿さくらまつり

平成三十一年四月十三、十四日に行われた狩宿さくらまつりに、当研究会より内藤先生、小林、平澤、古屋、小淵の五名が参加し、昨年引き続き「手すき和紙体験」を催しました。



体験当日は天気にも恵まれ、満開の桜の元で体験を行うことができました。紙にしわが寄りなかなきれいに漉けず苦戦する場面もあり、紙すきの難しさを体感してもらったことができたと思っております。最後に、体験された方には記念のものがきを差し上げました。たくさん笑顔も見られ、成功裏に終えることができました。

小淵 真巳 (文・写真)



## 新会員紹介

### 佐野智久さん

六月に入会いたしました静岡市清水区在住の佐野と申します。入会の動機としましては、私はエブル(マーブリング)というものをしています、その作品を和紙で、できないものかと思ひ、調べてみたら、柚野に駿河半紙の工房があると知りました。早速、訪ねてみると、ちょうど六月に駿河半紙の実技研修会があると聞き、そこに参加するかたちで入会させて頂きました。

エブルとは、トルコの伝統芸術のひとつで、日本では墨流しにあたるものです。今までは、洋紙でしかエブルを作製したことはなかったのですが、和紙で墨流しができるなら、手作りの和紙でもエブルが作れると考えたことも入会理由の一つです。

六月に初めて体験しましたが、紙漉き自体あまりよく分からずに参加したため、原料の準備や多くの製作過程を知り大変勉強になりました。また、たくさんの手間をかけた、一枚の和紙が作られることに感心しました。

実際に紙を漉いてみて、思った以上に重労働かつ繊細で、ひとつひとつの工程に気を使うことが分かりました。当然ですが、うまく漉くことはできず、あっという間に時間が過ぎ、研修会の日が終わってしまいました。

★★ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため ★★  
★★ 本年度の総会は11月に延期になります ★★

駿河半紙技術研究会主催

## 令和2年度 総会・記念講演会・懇親会のお知らせ

会期 令和2年11月21日(土) 11:00~13:00  
会場 〒418-0062 富士宮市城北町667 TEL0544-24-0100  
そばの蔵「志ほ川」 <https://soba-shihokawa.com/>  
会費 1名 2,000円(税込み)  
内容 11:00~11:10 総会  
11:10~12:00 記念講演会  
仮演題「日本美術における手漉き和紙の関わり方」  
講師 関 出氏(東京藝術大学名誉教授・当会員)  
12:00~13:00 懇親会 美味しいお蕎麦を。

申し込み締切日 10月20日(火)  
申し込み方法 前金制 郵便振替ご利用 00830-7-137  
柚野手すき和紙工房・内藤恒雄

★★ 2020年度の年会費1,000円のご入金も忘れずをお願い致します ★★

振込先: 郵便振替ご利用 00830-7-137  
柚野手すき和紙工房・内藤恒雄  
〒419-0301 富士宮市上柚野 907-1 TEL&FAX 0544-66-0738

今回の和紙は上手くできませんでした。今までは自分が思っている和紙とは違い、きれいで毛羽立ちもなく、素敵なものに出会えた感じでした。  
今後、実技研修会などに参加して、楽しく和紙の作製に精進していきます。

内藤会長のホームページアドレス(URL)が変更になりました。

変更前  
<http://plaza.across.or.jp/~yunotesukiwashi/>  
(2019/12/01に閉鎖)

変更後  
<https://surugabanshi.com/yunotesukiwashi/>